

[東京外国語大学](#) > [TUFS Cinema](#) > [TUFSCinema上映作品](#) > チベット映画特集『草原の河』 / River

チベット映画特集『草原の河』 / River

2018年09月25日 [TUFSCinema上映作品](#)



草原の河



お父さんは
お祖父ちゃんが
嫌いなのです？

上海国際映画祭
アジア新人賞
最優秀女優賞
(史上最年少)

ベルリン国際映画祭 Generation*97門 正式出品
レッシニア映画祭 最優秀作品賞 最優秀女優賞 (14歳)

【上映作品情報】

チベット。空と大地が広がる。厳しい自然の中で牧畜を営む家族。幼い娘は、母が新しい命を授かったと知り、やがて生まれてくる赤ん坊に母を取られてしまうと心を痛める。父は、4年前の出来事をきっかけに自分の父親をいまでも許せないでいる。娘、その父、そして祖父——。家族三代それぞれの心情を、河が見つめている。

刻々と動く雲の隙間から降りそそぐ光、急に降り出す雨。凍った河を走るバイク、子羊の鳴き声。赤ん坊を授けるという天珠をじっと見つめる娘、生と死の無垢と残酷。普遍的な物語でありながら、チベット人監督ソントルジャの美しくも峻烈な映像の力が、驚きにも似た感動ではっと心呼び覚ます。みずみずしい感動に満ちた一作が誕生した。

【監督・脚本】ソントルジャ

【撮影】王猛

【出演】ヤンチェン・ラモ、ルンゼン・ドルマ、グル・ツェテンほか
原題：河 | 英語題：River | 2015年 | 中国映画 | チベット語 | 98分 | DCP | ビスタサイズ | ステレオ | 映倫区分：G

2018年
10月26日 金

18:30 上映開始 開場18:00

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町3-11-1

◎ 映画『草原の河』本編上映 (98分)

◎ トークセッション (50分)

大川謙作 (日本大学文理学部 准教授)

蔵西 (漫画家、イラストレーター)

司会 星泉 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授)

入場無料 / 先着順 / 申込み不要 (定員501名)

主催：東京外国語大学TUFS Cinema、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研)「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築 (LingDy3)」プロジェクト

協力：Director Sonthar Gyal / ムヴィオラ / チベット文学研究会



【JR中央線】「武蔵境」駅のりかえ西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分 (駐車場はありません)

【京王電鉄】「飛田給」駅北口より多磨駅行き 京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

【お問合せ】

東京外国語大学 総務企画課 広報係 (TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5150**
(平日9:00-17:00)

Email soumu-koho@tufs.ac.jp

Facebook [@tufscinema.pr](https://www.facebook.com/tufscinema)

Twitter [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて

<https://tufscinema.jp/>



トークセッション：大川謙作（日本大学文理学部 准教授）、蔵西（漫画家、イラストレーター）
司会 星泉（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授）



©GARUDA FILM

開催情報

開催日時 **2018年10月26日（金） 18:30開映（18:00開場）**

Date 26 October 2018 (Friday) 18:30 start (Doors open 18:00)

会場 **東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール**

Venue Prometheus Hall (Hall name), Agora Global (Building name), Tokyo University of Foreign Studies

プログラム / Programs

- 『草原の河』 本編上映 / Screening “River”
- トークセッション：大川謙作（日本大学文理学部 准教授）、蔵西（漫画家、イラストレーター）
司会 星泉（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授）

その他 **入場無料、先着501名、申込不要、一般公開**

Others Admission-free / First 501 people / No application required / Open to the public

主催：東京外国語大学 TUFS Cinema、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語 研究体制の構築（LingDy3）」プロジェクト 協力：Director Sonthar Gyal、ムヴィオラ、チベット文学研究会

作品紹介

【監督・脚本】 ソンタルジャ

【撮影】 王猛

【出演】 ヤンチェン・ラモ、ルンゼン・ドルマ、グル・ツェテンほか

原題：河 | 英語題：River | 2015年 | 中国映画 | チベット語 | 98分 | DCP | ビスタサイズ | ステレオ | 映倫区分：G

【あらすじ】

チベット。空と大地が広がる。厳しい自然の中で牧畜を営む家族。幼い娘は、母が新しい命を授かったと知り、やがて生まれてくる赤ん坊に母を取られてしまうと心を痛める。父は、4年前の出来事をきっかけに自分の父親をいまでも許せないでいる。娘、その父、そして祖父。家族三代それぞれの心情を、河が見つめている。

刻々と動く雲の隙間から降りそそぐ光、急に降り出す雨。凍った河を走るバイク、子羊の鳴き声。赤ん坊を授けるといふ天珠をじっと見つめる娘、生と死の無垢と残酷。普遍的な物語でありながら、チベット人監督ソンタルジャの美しくも峻烈な映像の力が、驚きにも似た感動ではっと心呼び覚ます。みずみずしい感動に満ちた一作が誕生した。





@GARUDA

フリートーク出演者紹介



page top >

大川謙作

(日本大学文理学部准教授)

専門は社会人類学、チベット現代史、チベット現代文学。近年は台湾史学思想史やチベット仏教のグローバル化の歴史にも関心を寄せています。主な業績に「チベット旧社会の村落構造をめぐって：ダライ・ラマ政権の村落支配」岩尾一史・池田巧編『チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開』（京都大学人文科学研究所、2018年）、主な訳書にペマ・ツェテン『チベット文学の現在 ティメー・クンデンを探して』（星泉との共訳、勉誠出版、2013年）などがある。『SERNYA』編集部メンバー。



蔵西

(漫画家、イラストレーター)

卒業旅行でチベットを訪れ魅了されて以来、チベット文化圏各地を旅し、絵地図を長く描いていました。しかし自分の絵地図でチベットの物語を表現することに限界を感じ、漫画を描くように。西チベットを旅する青年が主人公の漫画『流転のテルマ①～④』（講談社）でデビュー、現在はチベット動乱期

直前が舞台の少年僧が主人公の漫画「月と金のシャングリラ」をマトグロッソ（イースト・プレス社）で連載中。『SERNYA』にもイラストを寄せています。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。



星泉

（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授）

専門は言語学、チベット語、チベット文学。チベット語の文法研究からスタートしましたが、10年ほど前からチベット文学や映画を紹介する活動を始め、文芸翻訳をライフワークにしています。主な訳書にラシャムジャ『チベット文学の新世代 雪を待つ』（勉誠出版、2015年）、ツェラン・トンドゥブ『闘うチベット文学 黒狐の谷』（共訳、勉誠出版、2017年）など。2013年創刊『SERNYA チベット文学と映画制作の現在』編集長。『チベット牧畜文化辞典』の中の人。



TUFS Cinema チベット映画上映会

草原の河



お父さんは
お祖父ちゃんか
嫌いな？

上海国際映画祭
アジア新人賞
最優秀女優賞
(史上最年少)

ベルリン国際映画祭 Generation部門 正式出品
レシニア映画祭 最優秀作品賞 審査員賞(4歳)

©GARUDA FILM

【上映作品情報】

チベット。空と大地が広がる。厳しい自然の中で牧畜を営む家族。幼い娘は、母が新しい命を授かったと知り、やがて生まれてくる赤ん坊に母を取られてしまうことを恐れる。父は、4年前の出来事をきっかけに自分の父親をいまでも許せないでいる。娘、その父、そして祖父——。家族三代それぞれの心情を、河が見つめている。

刻々と動く雲の隙間から降りそそぐ光、急に降り出す雨。凍った河を走るバイク、羊の鳴き声。赤ん坊を授けるという天珠をじっと見つめる娘、生と死の無垢と残酷。普遍的な物語でありながら、チベット人監督ソントルジャの美しくも峻烈な映像の力が、驚きにも似た感動ではつと心呼び覚ます。みずみずしい感動に満ちた一作が誕生した。

【監督・脚本】ソントルジャ

【撮影】王猛

【出演】ヤンチェン・ラモ、ルンゼン・ドルマ、グル・ツェテンほか

原題：河 | 英語題：River | 2015年 | 中国映画 | チベット語 |

98分 | DCP | ビスタサイズ | ステレオ | 映倫区分：G

2018年
10月26日 金

18:30 上映開始 開場18:00

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

東京都府中市朝日町3-11-1

◎ 映画「草原の河」本編上映 (98分)

◎ トークセッション (50分)

大川謙作 (日本大学文理学部 准教授)

蔵西 (漫画家、イラストレーター)

司会 星泉 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授)

入場無料 / 先着順 / 申込み不要 (定員501名)

主催：東京外国語大学TUFS Cinema、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築(LingDy3)」プロジェクト

協力：Director Sonthar Gyal/ムヴィオラ/チベット文学研究会



【JR中央線】「武蔵境」駅のりかえ西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分 (駐車場はありません)

【京王電鉄】「飛田給」駅北口より多磨駅行き 京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

【お問合せ】
東京外国語大学 総務企画課 広報係
(TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5150**
(平日9:00-17:00)

Email soumu-koho@tufs.ac.jp

Facebook [@tufscinema.pr](https://www.facebook.com/tufscinema)

Twitter [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

詳細はTUFS Cinema ウェブサイトにて

<https://tufscinema.jp/>



TUFS Cinema とは、

東京外国語大学が不定期に開催する

世界諸地域の映画上映会。

上映やトーク企画を通して

世界諸地域の社会・歴史・文化などの

理解を深めることを目的としている。

今回のTUFS Cinemaでは、

チベット映画の最新作「草原の河」を上映。

チベットを取り巻く時代の変遷と

人々の暮らしや社会・文化について

理解を深める場としたい。

トークセッション登壇者のご紹介 *Talk Session*



大川謙作 (日本大学文理学部准教授)

専門は社会人類学、チベット現代史、チベット現代文学。近年は台湾史学思想史やチベット仏教のグローバル化の歴史にも関心を寄せています。主な業績に「チベット旧社会の村落構造をめぐって：ダライ・ラマ政権の村落支配」岩尾一史・池田巧編「チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開」(京都大学人文科学研究所、2018年)、主な訳書にペマ・ツェテン「チベット文学の現在 ティメー・クンデンを探して」(皇泉との共訳、勉誠出版、2013年)などがある。「SERNYA」編集部メンバー。



葦西 (漫画家、イラストレーター)

卒業旅行でチベットを訪れ魅了されて以来、チベット文化圏各地を旅し、絵地図を長く描いていました。しかし自分の絵地図でチベットの物語を表現することに限界を感じ、漫画を描くように。西チベットを旅する青年が主人公の漫画「流転のテルマ①〜④」(講談社)でデビュー、現在はチベット動乱直前が舞台の少年僧が主人公の漫画「月と金のシャングリラ」をマトグロツク(イースト・プレス社)で連載中。「SERNYA」にもイラストを寄せています。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。



星泉 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)

専門は言語学、チベット語、チベット文学。チベット語の文法研究からスタートしましたが、10年ほど前からチベット文学や映画を紹介する活動を始め、文芸翻訳をライフワークにしています。主な訳書にラシャムジャ「チベット文学の新世代 雪を待つ」(勉誠出版、2015年)、ツェラン・トンドゥブ「闘うチベット文学 黒狐の谷」(共訳、勉誠出版、2017年)など。2013年創刊「SERNYA チベット文学と映画制作の現在」編集長。「チベット牧畜文化辞典」の中の人。

学んでみよう、

チベットのこと チベット語／文化

東京外国語大学では、アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)を中心にチベット語・チベット文化の研究が行われ、その研究成果を学部・大学院教育やTUFSオープンアカデミー(公開講座)、出版などを通じて還元しています。その一部をご紹介します。

TUFSオープンアカデミー (どなたでも受けられる公開講座)

東京外国語大学では、どなたでも学べる場として「TUFSオープンアカデミー」という公開講座を開設しています。TUFSオープンアカデミーは、春期間・夏期間・秋期間の3期に分けて受講者の募集、講座を開講しています。チベット語は、例年、春期間・秋期間の通年講座として、初級・初中級・中級の3つのレベルの講座を開講しています。初学者には、春期間から始まる初級講座がオススメです。

【2018年度の開講例】

春期間：チベット語初級Ⅰ、チベット語初中級Ⅰ、チベット語中級Ⅰ
秋期間：チベット語初級Ⅱ、チベット語初中級Ⅱ、チベット語中級Ⅱ

詳細は、TUFSオープンアカデミーWebサイトをご覧ください。

2019年度春期間講座の詳細公表は1月中旬、募集期間は2月20日～3月13日を予定しています。
[URL] <https://tufoa.jp/>



チベット語講座担当 浅井万友美先生からひとこと

「チベット語というと、なじみがなく難しそうだと思う方が多いかもしれませんが、でも日本語と語感が似ており発音もそれほど難しいないので、比較的まねやすいと思います。使われている範囲は、多くの話者が暮らす中国チベット(西蔵)自治区と、その周辺の地域や国々。仏教や牧畜に関する豊富な語彙からは、人々の暮らしや思いが立ち上がります。日本語とは異なる文字のシステムを知るのも、興味深いのではと思います。」



東京外国語大学の正規学生には、授業科目として、チベット語(担当:星泉教授、世界教養プログラム:世界のごと)も開講しています。



書籍・オンライン

アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)を中心に行われているチベット研究は、書籍の出版やオンライン資料・教材という形でも還元されています。そのうち、最近公開した2点をご紹介します。



タクブンジャ 著
海老原志穂、大川謙作、星泉、三浦順子 訳
『ハバ犬を育てる話』
(東京外国語大学出版会、296頁、定価:本体2400円+税)

訳者の4名はチベット文学研究会を結成し、2004年頃から翻訳活動を開始しました。2008年より雑誌「火獅子」(草書房、2014年終刊)にチベット現代文学の翻訳を発表。また、翻訳書にトンドゥブジャ「ここにも激しく躍動する生きた心臓がある」(勉誠出版、2012)、ペマ・ツェテン「ティメー・クンデンを探して」(勉誠出版、2013)があります。



オンラインコンテンツ

『チベット牧畜文化辞典』
(パイロット版、ダウンロード等無料)

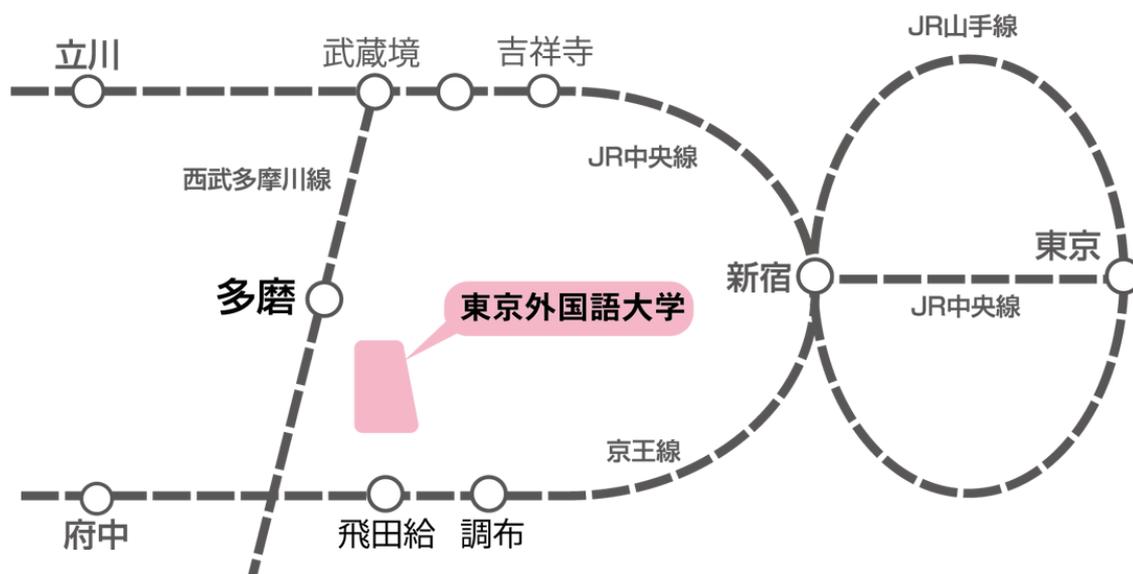
共同研究「チベット牧畜言語学収集プロジェクト」(通称)の4年間の研究成果として、iOS版、オンライン版、PDF版の3形態の辞典を公開。左画像は、iOS版のサンプル。辞典技術の結果は、チベット語、音声、日本語訳、英語訳、中国語訳が出ます。項目によっては解説、写真、イラストも用意。

【入手方法】プロジェクトのWebサイトにアクセスしてください。

<http://nomadic.aa-ken.jp/>



会場のご案内

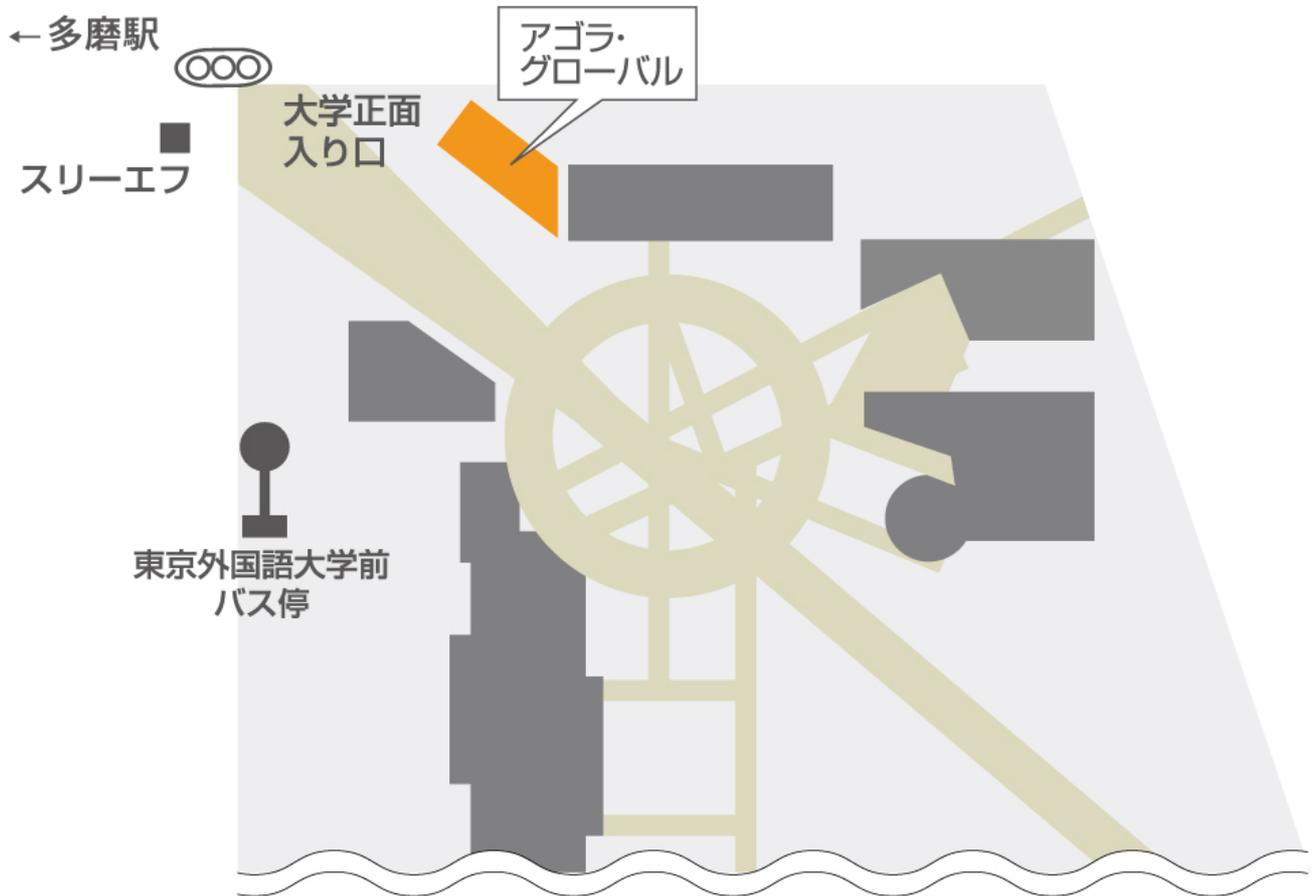


◆〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分
(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分 「東京外国語大学前」下車

[Google マップ](#)



キャンパスマップ



お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課（土日祝をのぞく 9:00-17:00）
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
Tel: 042-330-5441

[TUFS Cinemaウェブサイト]

<https://www.tufscinema.jp>

[東京外国語大学ウェブサイト]

<http://www.tufs.ac.jp>

[イベント情報などの配信]

TUFS Cinema 上映会情報は、Facebook／Twitterでも配信しています。TUFS Cinemaファンの皆さま、ぜひフォローしてください。

Facebook: <https://www.facebook.com/tufscinema.pr/>

Twitter: [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

<input type="text"/>	検索
----------------------	----



© 2017 Tokyo University of Foreign Studies.
All Rights Reserved.